

日銀神戸 支店長の 視点

竜田博之氏



私は、以前、本行の下関支店長をしていましたが、その山口県下関市と福岡県北九州市をまたぐ道路橋である、関門橋が開通50年を迎え、この橋の技術が、後に、明石海峡大橋にも生かされたという記事を最近目にしました。

神戸市垂水区舞子と淡路市松帆を結ぶ明石海峡大橋の姿は大変優美で、好きな景色の一つです。無事完走することができた、先般の神戸マラソンでも、中間地点でその美しさに元気をもらいました。

「古事記」で神々がつくり出した最初の島であるオノゴロ島は、淡路島周辺の小島であったとも言われていますが、淡路島は、古来より魅力的なだけでなく、新型コロナウイルス明け後はさらに観光客の勢

淡路島「選ばれる観光地」へ

いを増しています。

県では、今年から2027年を対象期間とする、「淡路島総合観光戦略」を打ち出しています。その目指す姿として、ひと、もの、文化、食等の淡路島に関わる多様な個性を「いのち」として育み、輝かせ、躍動させていくことで、淡路島の魅力を高めることと、「いのち」が交わり、支え合うことにより、「いのち輝く島」として、淡路島で生活する人々の豊かな暮らしの持続につなげていくこととしています。

また、基本理念として、「知られる観光地から選ばれる観光地への転換」を掲げるとともに、サステイナブルな複数の戦略について検討を進めています。

県では、戦略の評価指標として、近畿圏以外からの宿泊者の比率や観光客の満足度、住民理解度なども設定するようです。こうした取り組みが、一つずつ実を結ぶことを期待しています。